



訪ねて

ふるさとを



参道と市指定の山門をくぐると…

ふるさと紹介シリーズも6回目となり、今回は千歳町柴山にある白鹿山妙覚寺を訪ねました。

本庁から千歳総合運動公園を経由し、市道白鹿線を犬飼方面に向かうと、まもなく右側に妙覚寺への案内板が見えてきます。

車で2分ほど登っていくと、広い公園に着きます。

その一角に妙覚寺があり、参道と市指定有形文化財の山門が迎えてくれました。

妙覚寺の創立ははっきりしていませんが、宝暦年間（一七五一年～一七六三年）文不黙禅師が再興したと豊後国史に記録されています。

また、竹田市の岡城城主中川公の菩提寺、碧雲寺の住職であった虎関和尚が、妙覚寺で隠居生活をしたことが広く知られています。

妙覚寺では、管理者である小笠原常子さんの丁寧な説明の後、一の峰の山頂（267m）まで案内していただきました。

この妙覚寺には檀家がなく、柴山・日向久保地区の人々が献身的に寺を護り、今日に至っているそうです。

春には桜とつじ、夏は緑陰と小鳥のさえずり、秋は紅葉、冬は紅梅と椿の花が彩りを添え、とても風光明媚なところです。

今後は、この眺望を生かし、憩いの場として広く皆さまに利用していただきたいとのことでした。

虎関和尚は、望まれて大本山妙心寺に座し、それが長期にわたったため、碧雲寺に帰る機会を失ったのですが、風光明媚なこの地で詩書を楽しみ、画を試みました。画は鳥羽画式で、日常生活から題材を取った軽妙で滑稽な墨絵、戯画の脱俗的なものでありました。その虎関和尚が皇室から紫衣（紫色の衣）を賜ったときの心境を述べた次のような墨跡があります。

賜 紫衣

良くみれば 及ばぬときの多かりき
養きてくらせ 己が心に
恵日山大聖寺所蔵（犬飼町柴北）

〒879-7198 大分県豊後大野市三重町市場1200番地
TEL 0974-22-1001 FAX 0974-22-8101
<http://www.bungo-ohno.jp/gika/index.htm>

印刷／有限会社 朝日印刷
豊後大野営業所 三重町秋葉